

令和4年度第1回大阪府立体育会館等指定管理者評価委員会 概要

日 時：令和4年9月15日（木）10時00分～11時37分

場 所：エディオンアリーナ大阪 第4会議室

出席委員：美藤委員長、吉住委員、中村委員、平尾委員

1 審議事項

(1) 評価方法について

(2) 評価基準（評価項目）について

(3) 今後のスケジュールについて

事務局：資料4及び資料5に基づいて説明

委 員：令和3年度包括外部監査結果報告書（資料13）の指摘については、今回の評価基準案に反映されているのか。

事務局：昨年度の第2回評価委員会で報告した包括外部監査結果（評価方法に関する意見）については、課内検討を進め、指定管理者からも意見を聴取したところ、「新たな評価指標の設定はむずかしい。」や、「利用者満足度調査の対象を拡大する」などの意見があった。現時点では、新たな評価指標の設定は困難ではないかと考えているが、教育庁内の関係課と検討を重ね、その結果、新たな評価指標を設ける方向性になった場合には、本委員会において改めてご審議いただいた上で、決定していくことを予定している。

委 員：令和3年度における指摘を受けて、令和4年度の評価指標について何も変更しなくても監査人に説明できるのか。今後の検討状況によっては、この評価基準やアンケートの内容について変更が必要となることは考えられるのか。

事務局：包括外部監査の意見への対応については、令和5年2月に監査人に回答する予定であり、今後、教育庁内での検討が進み、本委員会において審議いただく必要が生じた場合は、12月の第2回評価委員会で審議事項として挙げさせていただく可能性はある。その場合は、新たな評価基準による評価は令和5年度以降となる。

委 員：令和4年度において対応方策が決定していない場合、監査人への回答は「検討中」ということになるのか。

事務局：そのとおり。

委員長：本件については、第2回評価委員会でも引き続き事務局から報告を受け、審議していくこととしたい。

委員長：議題1（評価方法）、議題2（評価基準）、議題3（今後のスケジュール）については、原案どおりでよいか。

委 員：異議なし。

(4) 施設利用者へのアンケートについて

事務局：資料11に基づいて説明

委員長：昨年度の第1回評価委員会でも議論したが、アンケートでいかに利用者から忌憚のない意見や要望を集められるよう工夫できるかが課題であったかと思う。

委 員：利用者は、翌年度の利用申込書とアンケート票を同時に提出することになっているので

細かな要望は書き辛いのではないかと思う。

委員：施設への要望があるにも関わらず書くことができないのは問題であると思う。利用日調整の団体あてにアンケート用紙を送っているとのことだが、利用日調整を行っていない利用者からは、アンケートを取っていないのか。

事務局：本アンケートはとっていない。

委員長：本委員会で議論すべきは、利用者から忌憚のない意見をどのように引き出すことができるのかということだと思う。例えば、このアンケート用紙に書ききれないのであれば別紙をつけてもらうことも考えられるがどうか。

委員：他には、「運営の改善につなげるために利用者の声が必要である。」と追記することも考えられる。

事務局：小さな利用者の声を拾い上げるために、全利用者にアンケート用紙を配付するなど別の手法を指定管理者に検討してもらうよう指示するのはどうか。別の手法で拾い上げた利用者の声を指定管理者で対応可能なもの、難しいものに整理し、保健体育課を通じて評価委員会で議論してもらうことが考えられる。

委員長：このアンケート以外に別のアンケートを行うということか。

事務局：そのとおり。例えば事務所前にアンケート箱を設けるなどが考えられる。

委員：行うことは反対しないが、様々な要望や意見に対して改善策を考えていく必要があることを考えると、指定管理者側の負担が大きいのではないか。やらなくてもよいと思う。

委員：この別のアンケートは、指定管理者判断で行うことという理解でよいか。

事務局：そのとおり。管理運営はあくまで指定管理者の権限・責任である。

委員：本委員会で議論するのは、資料 11 の様式をどうするのかということでもよいと思う。

委員長：様式に関しては、書ききれない場合は、別紙をつけるよう促す文章と、運営改善につなげるために利用者の声が必要であるとの趣旨の文章を追記することくらいかと思うがいかがか。

委員：包括外部監査から指摘のあった「住民サービスの向上が図られたかについての評価指標」のエビデンスをどのように得ることができるのかを改めて考えてみると、本アンケートにより、指定管理者が設定している施設の設置目的や理念、または、利用者個人の健康がどのように変化したのかや、指定管理者が実施した事業に参加した結果、体力が向上したのか、健康の増進に役立ったのかなどの項目を設けることは可能ではないかと思っている。指定管理者が独自に作成する設問に上記の趣旨を加えられないか、指定管理者が検討し提案してもらうことができないか。

委員長：指定管理者独自の設問に加えるということか。

委員：施設によって目標や理念が異なることから、それぞれで検討していただければと思う。その検討・実施状況を受けて、第 2 回評価委員会で審議できればよいのではないかと思う。

事務局：本委員会での審議内容を指定管理者に伝え、指定管理者にアンケート項目を検討いただき、次回の第 2 回評価委員会でその内容を報告させていただくこととしたい。

2 報告事項

事務局：昨年度の第 2 回評価委員会において指摘のあった「トイレ改修」について、門真スポー

ツセンターでは、令和4年1月から2月にかけて、和式5か所の洋式化工事を行っている。また、体育会館では、今年度もしくは来年度に数カ所の洋式化工事を行う方向で、現在、指定管理者において検討しているところである。